



GIGA スクール通信 vol.2



令和3年度から、GIGAスクールによる一人一台端末を本格的に活用した教育が始まった垂水市。ここでは、市民の皆様へ、GIGAスクールはどういったものなのか解説するとともに、各校の取組を紹介することで、GIGAスクール構想を基にした教育に親しみを持っていただければと思います。

『垂水市のGIGAスクール』 渡邊アドバイザーと 坂元教育長の白熱教室

今回は、令和4年度から、本市のGIGAスクールアドバイザーに就任した渡邊先生と坂元教育長の対談の様子を紹介いたします。

GIGAスクールの現状、本市の取組、子供たち・保護者の皆様へのメッセージ等、本市のGIGAスクールの教育が分かる内容となっております。是非ご覧ください。



渡邊 光浩アドバイザー

鹿児島女子短期大学児童教育学科・准教授
宮崎県公立小学校・教諭を経て、2018年より専任講師を経て現職
鹿児島県かごしま「教育の情報化」推進連絡協議会委員



坂元 裕人教育長

平成29年4月1日から教育長に就任（現在2期目）
「GIGAスクールのまち 垂水」の理念を掲げ令和の日本型学校教育（ICTで授業改善、業務改善等）の構築を推進中



GIGAスクールの現状は

渡邊…GIGAスクール整備は進みましたが、きちんと活用できていないかという面では、自治体や学校間で差ができています。県総合教育センターの情報発信は、全国でも自慢できるレベルです。しかし、昨年7月時点で、鹿児島県は端末の持ち帰りが全国平均に比べて進んでいませんでした。その点で、垂水市の取組はかなり進んでいると思います。

坂元…私たちはGIGAスクールに取り組みに当たって、「原点、結果、創造」というキーワードを掲げました。目に見える結果も大切ですが、目に見えない結果として社会とつながる「子供たちの自立」を視野に入れています。

また、子供たちや保護者は、どのような期待感をもってこのGIGAスクール時代を迎えようとしていたのだろうか。教職員はどのような思いだったのか。1年目を終えた今、もう一度原点に戻って、2年目の垂水市の取組を前に進めていきたいと思えます。

垂水市の取組を推進するために必要なこと

渡邊…原点に戻ると「子供たちに端末をどんどん使わせる」ことが大切です。先生方は、操作に自信がなくても子供たちに教わるぐらいの気持ちで活用させればよいのです。

若手の先生やICT活用の得意な先生が活用面でのサポートをし、ベテランの先生は授業づくりのサポートをすると、学校全体が進めようとする気運ができます。GIGA環境での授業は始まったばかりです。いろいろ試してみましよう。失敗もありますが、それを改善することが学校全体でICTを活用することにつながります。

坂元…授業づくりの「コミュニケーション」が活性化することにもなりますね。私は、GIGAスクールで教育改革を進めようと考えていますが、まさに、「子供が、授業が、学校が変わっていくツール」になります。

渡邊…GIGAスクールを進めるのは、ICTが得意な先生だけではありません。授業で上手に使って

ている先生にこそ周りが影響を受けていきます。そういう場面をたくさん認めたいですね。

坂元…GIGAスクールを学校経営の核にしている学校では、ベテランの先生が楽しそうに端末を使い、全職員で取り組んでいます。そのような姿を2年目は全ての学校で期待したいですね。

渡邊…それから、管理職が先進的なICT活用やアクティブ・ラーニングについて理解しているかも大切です。管理職がそういうことを理解し、リーダーシップを発揮していると、学校全体のICT活用が進んでいるという調査結果があります。

GIGAスクールを進める効果とは

坂元…1人1台端末を活用することで、表現が苦手だった子供が、自分の考えを発表することに喜びを感じたり、「話を聞くのが楽しくなった」という子供がいたりするようです。

渡邊…大学の授業で、少人数で話し合ったり、全員の意見を一覧できた



▲渡邊アドバイザー講話の様子

りしていると、大学生が、人の意見を知ること、自分の意見を表現することのよさに改めて気付いています。人と交流することのよさを分けるのがGIGAスクールの取組だと思います。今後は、調べたことをそのまま発表するのではなく、上手に要約したり、事実と感想を区別して発表できたりしてほしいです。

坂元…ある複式学級の授業では、端末に活動のヒントとなる動画等を視聴できるようにしたこと、「先生がいなくてもタブレットの中に、もう1人の先生がいる」と表現した子供がいたそうです。端末を効果的に活用することで、自分の学びをしっかり進める子供の姿が見えてきます。

保護者との連携について

渡邊…私は小学校の教員だったとき、最後の授業参観で学習したことをまとめて発表させていました。運営や進行、機器操作等すべてを子供たちに任せ、「先生が何も言わず、何もしないで終わったら、今日の授業は大成功」と話していました。子供たちが頑張る姿を見て、保護者の皆さんは喜んでくださいました。

坂元…GIGAスクールの効果は、子供たちの姿に現れるのがいいですね。そのような取組は、子供たち同士の良い刺激になり、互いに力を高めて、「子供たちの自立」にもつながっていくと考えています。

渡邊…家庭学習はこれまで「とにかく繰り返し」というイメージではなかったでしょうか。Aードリルを使えば、解けないときに、その前提となる問題の復習へとガイドしてくれます。また、自主学習の幅も広がります。そういうよさを保護者に見てもらおうと、垂水市の取組は全体的に進んでいき、更なる段階での取組をするこ

渡邊アドバイザーから期待を込めてメッセージ



子供たちへ

タブレット端末に慣れてきたでしょうから、どんどん使ってください。できれば、先生たちに「こんなふうに使えんじゃないですか」と言えるようになってほしいです。

保護者の皆様へ

子供たちに、学校でどんなことをしているか、家での使い方などをどんどん尋ねてください。それを親子の会話として楽しんでください。

教員の皆様へ

効果的な活用はやってみなければ分かりません。最初から効果的な活用をねらわず、トライ＆エラーでいろいろな活用を試すことから始めてください。